中学校防災教育推進全体計画（例）

生徒の実態

地域の特性

学校目標

防災教育の目標

・災害発生のメカニズムの基礎や様々な地域の災害事例、日常の備えの大切さを理解できるようにする。

・災害から生命を守るために必要な能力や資質の向上を図り、自他の安全のために主体的に行動できる力を育成する。

・生命を尊重する心を育成するとともに､他者に対する思いやりや助け合いの心､ ボランティア精神等を養う｡

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 推　進　の　視　点 | | |
| 防災体制の整備充実 | 兵庫の防災教育の推進 | 指導力・実践力の向上 |
| ・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化  ・家庭や地域及び関係機関との連携  ・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備  ・日常の安全管理と避難経路等の点検 | ・教育活動全体を通じ、教科を横断した防災教育の推進  ・防災教育副読本等の活用  ・生徒個々の状況に応じた心のケアの充実  ・家庭、地域と連携した効果的な防災訓練等の工夫・実施 | ・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上  ・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実  ・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 各　学　年　の　目　標 | | |
| １年 | ２年 | ３年 |
| ・自然災害について知るとともに、 地域の特性をとらえることによって、災害への備えの大切さを理解できるようにする。  ・家族や社会の一員として共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。  ・人間としてかけがえのない生命を与えられていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考えられるようにする。 | ・地域の災害特性に気づかせるとともに先人の災害への備え等について調べ、地域における防災体制整備の大切さを理解できるようにする。  ・被災者の心情や災害や事故等がもたらす悲しみや苦しみにふれることで、生命の重さや尊さについて考えられるようにする。  ・ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的に参加しようとする態度を養う。 | ・災害発生のメカニズムを理解し、安全で快適なまちづくりのための環境整備の大切さを理解できるようにする。  ・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての理解を図る。  ・やさしさや思いやりの心を持って生きることの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。  ・災害時において学校が果たす役割について理解し、学校と地域の人々とのつながりについて考えられるようにする。 |
| ・災害時に周囲の状況を的確に判断し、周囲の人にも配慮して安全な避難行動がとれるようにする。  ・応急手当の意義を理解し、心肺蘇生等の応急手当ができるようにする。 | | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 各　教　科 |  | 特別の教科　道徳 |  | 特　別　活　動 |  | 総合的な学習の時間 |
| ・科学的思考力・判断力  ・災害発生のメカニズム、地域の災害特性、地域での支え合い、防災体制等の知識  ・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての知識  ・様々な場面に応じた危険の予測や回避、避難の仕方や災害への備え  ・心肺蘇生等の応急手当 | ・生命の尊重、差別意識の解消、多文化共生等人権尊重の精神  ・ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心  ・互いに励まし合い高め合い、協力できる仲間づくり、集団生活の充実  ・人としてよりよく生きること | ・日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や実践的な行動  ・互いに協力し合い、自ら困難を克服する力  ・災害発生時の避難所の役割や自主組織の活動の必要性  ・自主性やボランティア精神を育成する活動 | ・ボランティア精神及び実践的態度を育成する活動  ・地域の災害の歴史や防災体制について問いを見いだし情報収集し、安全で安心なまちづくりについて主体的・共同的に取り組む探究的な学習 |